

奥尻・瀬棚を訪ねました。

8月2日（木）～4日（土）に奥尻・瀬棚へ行ってきました。いままで函館に30年以上住んでいるのに一度も訪ねたことがありませんでした。渡島・檜山の中学校はすべて訪問しているのですが、奥尻は初めてで江差からフェリーで渡りました。初日は島内を一周し、おいしい海産物に舌鼓をうちました。

翌日は奥尻中学、青苗中学に訪問しました。両校とも教頭先生が丁寧に対応して下さいました。お二人とも檜山での経験が長く、遺愛のことについて十分ご存知でした。今年は函館に出る女子生徒はいないようですが、遺愛には現在2名の奥尻出身の生徒が在籍しています。生徒の保護者の方ともお会いでき、少しでもお話しできたのが幸いでした。冬場はフェリーが欠航することもよくあると伺い、そのようななかで函館の遺愛までお子さんを出してくれると本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。

最終日は瀬棚経由で函館に戻ったのですが、瀬棚町郷土館に立ち寄り、明治18年に日本最初の女医となった荻野吟子の資料を見ることができました。吟子は東京本郷湯島で医院を開業するとともに婦人矯風会（日本の女性解放史において偉業をなしとげた組織）で中心メンバーとして活躍していました。40歳の時に14歳年下の志方之善と結婚し、キリスト教の理想郷建設を志し、北海道今金町神丘に入植しますが失敗してしまいます。その後、瀬棚で医院を開業するとともに矯風会瀬棚版である「瀬棚淑徳婦人会」を結成し、11年間地域の女性のために活動したそうです。遺愛出身の同窓生達が、日本では2番目になる函館婦人矯風会を立ち上げているので、おそらく吟子は遺愛とも関係があったと想像されます。それを裏付ける資料をぜひ探せればと願っています。



奥尻へのフェリー



奥尻島津波館から見た青苗方面



2012年8月10日